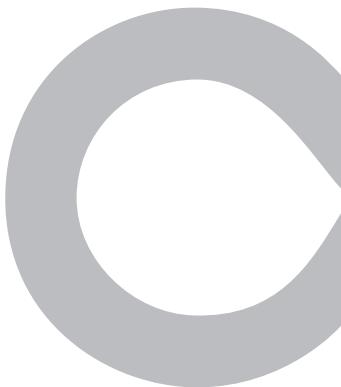


Printia LASER

B5WY-1181-02



Printia LASER XL シリーズ

はじめにお読みください

認証印刷ユニット **SecureLoginPrint**
(XL-SE100F)

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」(→P.6) をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください)。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造終了後 5 年間です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用環境は、温度 10 ~ 32 °C / 湿度 20 ~ 80%RH です (ただし、結露しないこと)。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、24時間運用中、ACアダプタが1日あたり8時間動作・16時間停止する状態でのご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
- ・長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

制御基板、ACアダプタ

24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

はじめに

このたびは、弊社の認証印刷ユニット SecureLoginPrint (XL-SE100F) (以降本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、本製品の設置方法とお使いになるうえで知りたいことを記載しています。本製品をお使いになる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2008年1月

画面で見るマニュアルについて

- ・ソフトウェアのインストール方法や指紋認証による印刷方法など、このマニュアルに記載されていない項目は、HTML形式／PDF形式の「ユーザーズガイド」で提供しています。「ユーザーズガイド」は、添付の「SecureLoginPrint ユーティリティ」CD-ROMに格納されており、次の手順で表示できます。
 1. 「SecureLoginPrint ユーティリティ」CD-ROMをパソコンにセットします。
 2. 表示された画面から「画面で見るマニュアル」をクリックします。
- ・PDF形式の「ユーザーズガイド」をご覧になるには、アドビシステムズ社の Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のWebサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) からインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

梱包物を確認してください

ご使用いただく前に次のものが梱包されていることをお確かめください。

万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

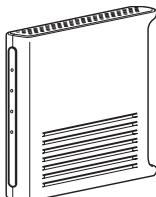
□保証書（箱に添付されています）



□ステータスランプ説明ラベル



□本体

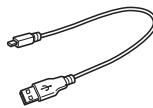


□指紋センサー

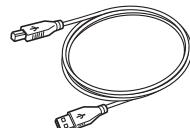


□USB ケーブル（次の長さの計 2 本）

- ・ 0.5m（指紋センサー接続用）



- ・ 1.5m（プリンタ接続用） [注]



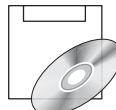
[注] 紛失・破損の際には、プリンタ USB
ケーブル (XL-CBLU2G) をご購入ください。

□はじめにお読みください（本書）

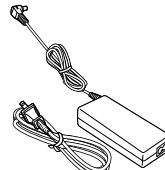
□オペレーターガイド



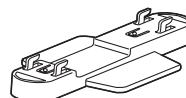
□「SecureLoginPrintユーティリティ」CD-ROM



□AC アダプタと電源ケーブル



□縦置きスタンド



□コア（大、小の計 2 個）

- ・ 大 (AC アダプタ取り付け用)
- ・ 小(指紋センサーUSB ケーブル取り付け用)

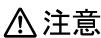


このマニュアルの表記について

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

記号	内容
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

記号	内容
	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	🚫で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	画面で見るマニュアルを表しています。
→	参照先を記述しています。
◎	CD-ROMを表しています。

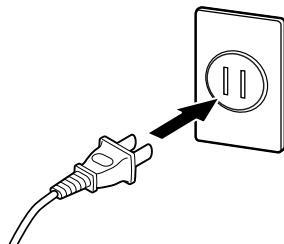
■製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows Vista® Ultimate	Windows Vista	Windows
Windows Vista® Enterprise		
Windows Vista® Business		
Windows Vista® Home Premium		
Windows Vista® Home Basic		
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	SecureLoginBox
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
バイオ認証装置 SecureLoginBox (FMSE-C301)	FMSE-C301	SecureLoginBox
増設用バイオ認証装置 SecureLoginBox (FMSE-C3A1)	FMSE-C3A1	

■電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行2極プラグ(125V15A)用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

安全上のご注意

□ 電源・電圧・接続について

△ 警告



- ・電源プラグは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
また、添付の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- ・ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまつままの状態で使用すると火災の原因となります。



- ・ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 警告



- ・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外してください。

落雷による感電、火災の原因となります。



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。

⚠ 注意



- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

□ 機器の取り扱いについて

⚠ 警告



- ・本製品の近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因となります。



- ・本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・同梱の指紋センサーは、本製品およびパソコンに接続されることを意図しています。
他の機器には接続しないでください。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したりしたときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

△警告



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。また、本製品の上に重いものを置かないでください。故障・けがの原因となります。



- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。



- ・本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
低温やけどの原因になります。

△注意



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・使用中の本製品やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。本体と壁の間に10cm以上のすき間を空けてください。また、排気孔などの開口部をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

□ その他

⚠ 警告



- 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

⚠ 注意



- 本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



- USB、LANなどの差し込み口（モジュラージャックコネクタ）に指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。

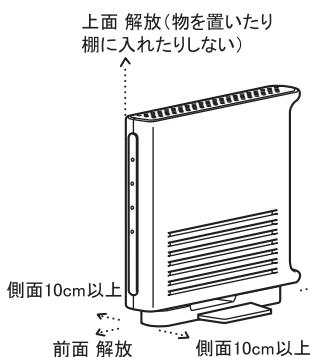


- 本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

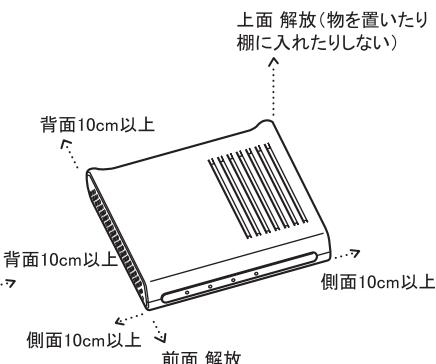


- 本製品の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

■縦置き時



■横置き時



- プリンタの通風孔付近に本製品を設置した場合、プリンタからの廃熱により内部に熱がこもり、火災の原因となります。性能を維持するため、プリンタからの廃熱の影響を受けない場所に設置してください。

目次

製品を安全に使用していただくために	1
はじめに	2
画面で見るマニュアルについて	2
梱包物を確認してください	3
このマニュアルの表記について	4
安全上のご注意	6
1 本製品の特長	11
2 3つの認証方式	12
シングル認証モード	12
ダブル認証モード	13
SecureLoginBox 連携認証モード	14
3 使用開始までの流れ	16
4 本製品の動作環境	17
5 各部の名称と働き	18
本体	18
指紋センサー	19
6 設置	20
縦置きにする場合	20
横置きにする場合	21
7 接続と動作確認	22
ケーブルの接続	22
AC アダプタの接続と動作確認	23
8 付録	24
使用上の注意	24
本製品の廃棄について	26
お問い合わせ先	26
ソフトウェアや本製品に関する情報の入手方法	27
仕様	27

1 本製品の特長

USB メモリなどによる情報の持ち出しを防止できても、誰でも印刷できる環境であれば情報漏洩のリスクがあります。本製品を使うことで、自分が出力した文書を守ることができます。

■指紋認証による印刷実行

- ・プリンタから印刷物を出力する際に、プリンタ横に設置した本製品で指紋による本人認証を行います。指紋は、偽造、盗用が困難なうえ、IC カードなどによる認証と異なり貸し借りや紛失の心配がないため、第三者による印刷を防止できます。
- ・印刷データをプリンタに送信した本人立ち会いの上で印刷物を出力することになるため、印刷物の放置や紛失を防ぎ、第三者による盗難やのぞき見を防ぐことができます。
- ・複数の人がプリンタに印刷データを送信している場合、指紋認証を行った人から印刷物を出力できます。前の人気が認証するのを待つ必要はありません。

■各種セキュリティ対策

- ・ネットワーク上の印刷データや指紋特徴データは、SSL (Secure Socket Layer) による暗号化が行われ、のぞき見を防止します。
- ・印刷データや指紋特徴データは、パソコン上に暗号化された状態で保存されます。パソコンの盗難や紛失などの被害にあった場合でも、内容は解読できません。
- ・本製品内部には印刷データは保持されません。本製品が持ち出された場合でも、印刷内容は漏洩しません。
- ・別売の SecureLoginBox (FMSE-C301、または FMSE-C301 + FMSE-C3A1 の組み合わせ) と連携することで、システム全体の総合的なセキュリティ対策を実施できます。
- ・本製品にアクセスできる IP アドレスを制限する、IP アドレスフィルタリング機能を備えています。本製品の設定変更を管理者のみに限定できます。
- ・認証エラーやプリンタエラーなどのエラー情報、指紋認証のログ、印刷ログなどの各種ログを、SYSLOG サーバーに送信できます。

■複数の認証方式を選択可能

認証方式として、次の 3 つのモードを備えています。

- ・シングル認証モード
- ・ダブル認証モード
- ・SecureLoginBox 連携認証モード

各認証方式の概要については、「3 つの認証方式」(→ P.12) をご覧ください。

■簡単な導入・運用管理

- ・本製品に IP アドレスを設定するための「IP アドレス設定ユーティリティ」を添付しています。
- ・Web サーバー機能を搭載しているため、Web ブラウザ画面から本製品の設定を行ったり、状態確認を行ったりできます。
- ・認証から印刷までの処理状況を本体前面のステータスランプで確認できます。

2 3つの認証方式

本製品では、「シングル認証モード」「ダブル認証モード」「SecureLoginBox 連携認証モード」の3つの認証方式を選択できます。認証方式により、用意する機器、設定方法、印刷手順が異なります。

◆ 重要

- ・本製品に接続して印刷するためのソフトウェア（「SecureLoginPrint ソフトウェア」）は、最大20台のパソコンにインストールできますが、同時に認証／印刷を行えるのは10台です（20台のパソコンから同時に印刷した場合、11台目以降は待ち状態になり認証は行えません）。

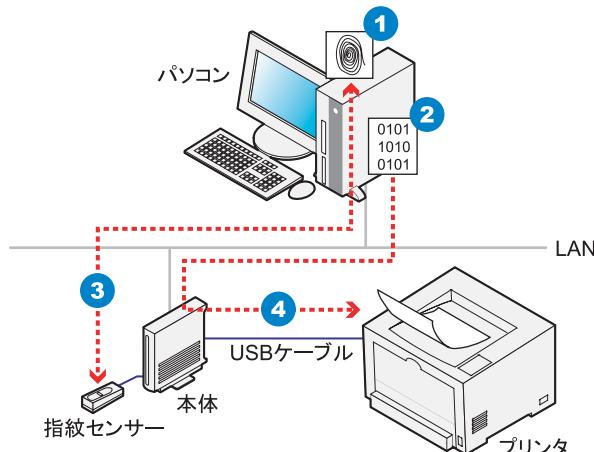
シングル認証モード

パソコンに指紋特徴データを事前に登録しておき、印刷時に入力された指紋特徴データと照合を行うモードです。パソコンと本製品のみで運用可能なため、低コストで印刷セキュリティを導入したい場合に最適です。

POINT

- ・パソコンに指紋センサーがない場合は、本製品添付の指紋センサーを接続して指紋特徴データを登録できます。

■ 接続形態と処理の流れ



- 1 パソコンに指紋特徴データを事前に登録しておきます。
- 2 アプリケーションから印刷を実行すると、印刷データがパソコンに一時保存されます。
- 3 指紋センサーで指をスライドさせ、認証を実行します。
- 4 印刷データが送信されます。

ダブル認証モード

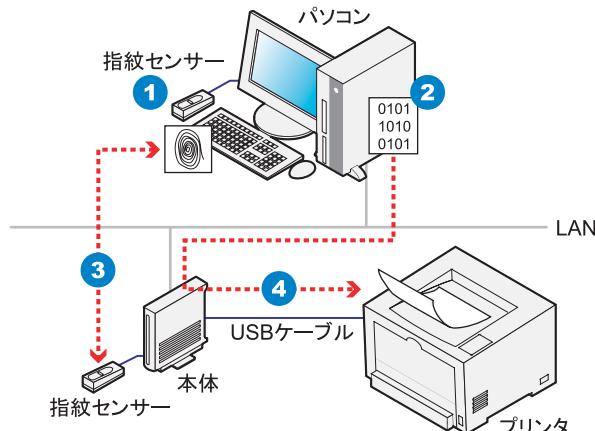
印刷のたびに、パソコン側とプリンタ側の両方で指紋入力を行い、両者の指紋特徴データが一致した印刷データのみ出力するモードです。

パソコン側に指紋センサーが常に必要となります、パソコンに指紋特徴データを残したくない場合や、不特定多数のユーザーがプリンタを利用する環境に最適です。

○ 重要

- ・パソコン側での指紋入力をサポートしている指紋センサーは、次の2種類です。他の指紋センサーは本製品では使用できません。
 - ・指紋認識装置 Fingsensor (FS-300U) (別売)
 - ・FMVシリーズのノートパソコンに内蔵されている、スライド方式の指紋センサー（詳しくは、「本製品の動作環境」(→P.17)をご覧ください)。

■ 接続形態と処理の流れ



- 1 アプリケーションから印刷を実行した後、パソコン側の指紋センサーで指をスライドさせて、指紋特徴データを入力します。
- 2 印刷データがパソコンに一時保存されます。
- 3 本製品側の指紋センサーで指をスライドさせ、認証を実行します。
- 4 印刷データが送信され、パソコンの指紋特徴データが削除されます。

SecureLoginBox 連携認証モード

別売の SecureLoginBox (FMSE-C301、または FMSE-C301 + FMSE-C3A1 の組み合わせ) と連携し、SecureLoginBox で管理されている指紋特徴データと照合を行うモードです。印刷時にプリンタ側で指紋入力を行い、SecureLoginBox の登録データと認証を行うことで、より強固なセキュリティ管理ができます。指紋のデータを安全に一括管理し、Windows ログオンから印刷までを含めた総合的なセキュリティ対策を実施したい場合に最適です。

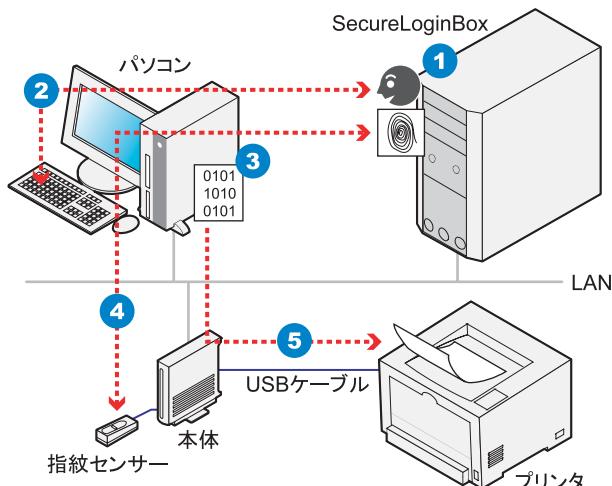
◆ 重要

- ・本製品を SecureLoginBox 連携認証モードで使用する場合は、インストール開始前に次の操作を行ってください。
 1. SecureLoginBox へのユーザー情報の登録
「ユーザーID」と「バイオパスワード」は SecureLoginBox の管理者にご確認ください。
 2. 「SMARTACCESS/Premium」のインストール
Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」をインストールしてください。
 3. 「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定
 4. SecureLoginBox への指紋特徴データの登録
- [注] 1. について、詳しくは SecureLoginBox の各マニュアルをご覧ください。
- [注] 2. から 4. について、詳しくは「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

POINT

- ・本製品は、SecureLoginBox と連携する際、ユーザー名と指紋特徴データを併用してデータベース上のデータと照合する 1:1 認証モードで動作します。

■接続形態と処理の流れ



- SecureLoginBoxに事前にユーザー登録しておきます。

ユーザー登録方法は、SecureLoginBox、「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

- アプリケーションから印刷を実行した後に、SecureLoginBoxに登録したユーザー名を入力します。
- 印刷データがパソコンに一時保存されます。
- 指紋センサーで指をスライドさせ、SecureLoginBoxと認証を実行します。
- 印刷データが送信されます。

3 使用開始までの流れ

本製品を設置し、使用開始するまでの流れは、次のとおりです。

1 動作環境の確認

本製品のサポート OS など、動作環境を確認します。「本製品の動作環境」(→ P.17) をご覧ください。

2 設置

本体をプリンタの近くに設置します。縦置きにする場合は、縦置きスタンドの取り付けが必要です。「設置」(→ P.20) をご覧ください。

3 接続と動作確認

本体に、指紋センサー、プリンタを接続した後、本体をネットワークに接続します。AC アダプタを本体に接続すると電源が入りますので、動作確認を行います。「接続と動作確認」(→ P.22) をご覧ください。

4 IP アドレスの設定

「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用し、ネットワークに接続した本製品に IP アドレスを設定します。[?]「ユーザーズガイド」の「第 2 章 IP アドレスの設定」をご覧ください。[?]「ユーザーズガイド」の参照方法は、「画面で見るマニュアルについて」(→ P.2) をご覧ください。

5 ドライバのインストール

指紋センサードライバのインストールを行います。[?]「ユーザーズガイド」の「第 3 章 ドライバのインストール」をご覧ください。

6 ソフトウェアのインストール

本製品に接続して印刷するためのソフトウェア(「SecureLoginPrint ソフトウェア」)をインストールします。[?]「ユーザーズガイド」の「第 4 章 ソフトウェアのインストール」をご覧ください。

7 設定と印刷

ポートの追加を行い実際に印刷を行います。[?]「ユーザーズガイド」の「第 5 章 設定と印刷」をご覧ください。

4 本製品の動作環境

本製品がサポートする環境は次のとおりです。本製品をお使いになる前にご確認ください。

表：本製品の動作環境

項目	サポート内容
サポート OS	Windows Vista® Ultimate Windows Vista® Enterprise Windows Vista® Business Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Home Basic Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® XP Home Edition
サポート指紋センサー	本体側 本体に接続できるのは、添付の指紋センサーのみです。 パソコン側 パソコンに外付けする指紋センサー、またはパソコン内蔵指紋センサーのうち、本製品で使用できるものは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">添付の指紋センサー指紋認識装置 Fingsensor (FS-300U) (別売)FMV-LIFEBOOK (2005年4月以降発表のモデル) 内蔵のスライド方式の指紋センサー なお、指紋センサードライバは次の版数である必要があります。 <u>指紋センサードライバ</u> AuthenTec 指紋センサードライババージョン 7.8.1.7D 以降 (AuthenTec 指紋センサードライババージョン 7.8.1.7D は、 「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウの「指紋センサードライバ」メニューよりインストールできます)
SecureLoginBox (バイオ認証装置)	FMSE-C301、または FMSE-C301 + FMSE-C3A1 の組み合わせ (別売) (SecureLoginBox 連携認証モードで使用するためには、Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」を別途ご用意いただき、パソコンにインストールしておく必要があります)
サポート接続数	最大接続数：20台 最大認証数：10台 (20台のパソコンから同時に印刷した場合、11台目以降は待ち状態になり認証は行えません)

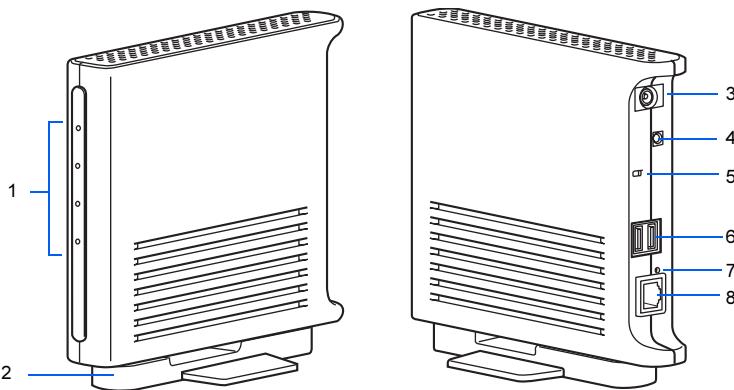
重要

- 本製品をお使いの場合、XL シリーズプリンタがサポートする Printianavi 機能はご利用になれません。あらかじめご了承ください。

5 各部の名称と働き

設置・接続を行う前に、本体、指紋センサーの各部名称をご確認ください。

本体



1 ステータスランプ

認証から印刷までの処理状況を、点灯や点滅で表します。図中上から次のランプが並んでいます。

表：ステータスランプの種類と役割

ランプ名（色）	役割
ONLINE/DATA（緑）	本体が起動すると点灯します。また、データの受信中や印刷中に点滅します。
SENSOR（緑）	指紋の読み取り時に点灯・点滅します。
VERIFY（緑）	指紋の照合中に点灯・点滅します。
ERROR（アンバー）	エラー発生時に点灯・点滅します。

各ランプの点灯・点滅時の意味については、「ユーザーズガイド」の「第8章 こんなときには」をご覧ください。

「ユーザーズガイド」の参照方法は、「画面で見るマニュアルについて」(→P.2)をご覧ください。

2 縦置きスタンド

本体を縦置きする場合に取り付ける設置台です。

3 DC-IN コネクタ (—)

AC アダプタを取り付けます。

4 スイッチ (SW)

- 電源が入った状態で押すと、押した時点の装置エラー情報が保存されます。保存されたエラー情報は、「SecureLoginPrint Internet Service」を利用してパソコンに保存できます。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「第7章 Web ブラウザを使用した管理」をご覧ください。
- スイッチを押しながら AC アダプタを接続して電源を入れると、ネットワークの設定などがご購入時の状態に戻ります。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「第8章 こんなときには」をご覧ください。

5 盗難防止用ロック取り付け穴 (▲)

盗難防止用ケーブルを接続できます。

6 USB コネクタ (•□□)

指紋センサー、プリンタと接続する際に、USB ケーブルを接続します。

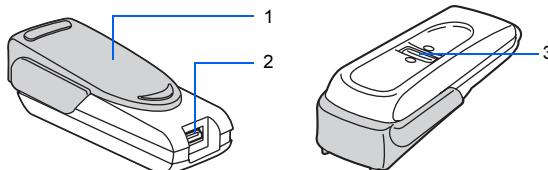
7 LINK ランプ (緑)

ネットワークに接続中に点灯します。

8 LAN コネクタ (□□)

ネットワークに接続する際に、LAN ケーブルを接続します。

指紋センサー



1 カバー

持ち運び時や保管時にセンサー部を保護します。指紋センサー使用中は取り外しておこうか、引っ越し返して指紋センサー底面側に取り付けることで指紋センサーの設置角度を調整できます（上図の右側は、カバーを底面側に取り付けた状態です）。

なお、カバーの取り外し、取り付けは、指紋センサー側面の溝に沿って、カバーをスライドさせて行います。



■ 重要

- 指紋センサーを持ち運ぶときは、必ずカバーを上面側に取り付けてください。センサー部がむきだした状態のままだと、センサー部に傷などがついて故障するおそれがあります。

2 USB コネクタ

本体と接続する際に、添付の USB ケーブルを接続します。

3 センサー部

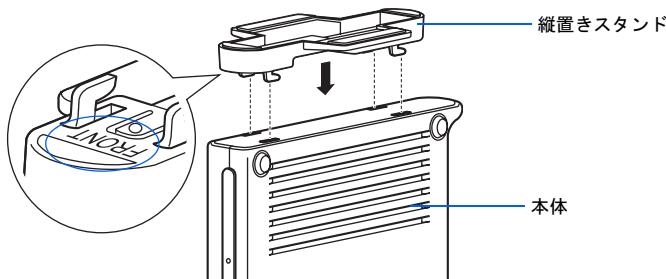
指をスライドさせて、指紋入力を行います。

6 設置

本体の設置を行います。縦置きにする場合は、設置前に縦置きスタンドを取り付けます。

縦置きにする場合

- 1 本体を上下さかさまに置きます。
傷がつかないよう、下に布などを敷いて作業してください。
- 2 縦置きスタンドのツメを本体底面の穴に差し込みます。
「FRONT」の刻印がある方を本体前面側に向けてください。



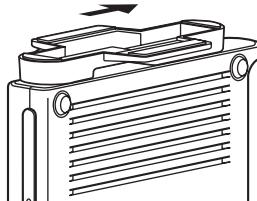
POINT

ツメと底面の穴の位置が合っているか確認してください

縦置きスタンドを前後逆に取り付けてしまうのを防ぐため、縦置きスタンドのツメと本体底面の穴は、左右の列で前後の間隔が異なっています。

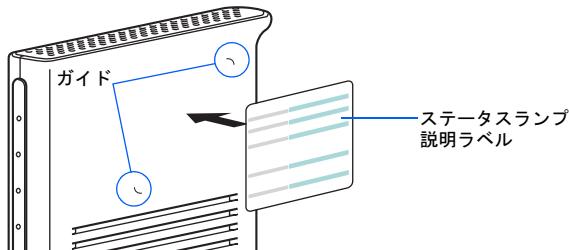
取り付けの際は、ツメと底面の穴の位置が合っていることを確認してください。逆のまま無理に取り付けようするとツメが折れますので、ご注意ください。

- 3 縦置きスタンドを本体背面側にスライドさせて固定します。



4 本体の上下を元に戻します。

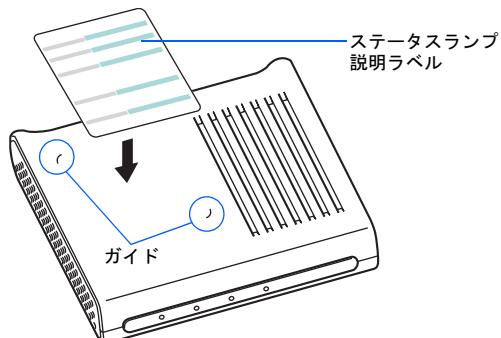
5 ステータスランプ説明ラベルを、本体右側にあるガイドに合わせて貼り付けます。



6 本体をプリンタ近くの平らな場所に設置します。

横置きにする場合

1 ステータスランプ説明ラベルを、本体上面にあるガイドに合わせて貼り付けます。



2 本体をプリンタ近くの平らな場所に設置します。

7 接続と動作確認

指紋センサーとプリンタを本体に接続します。その後本体をネットワークに接続し、AC アダプタを接続して電源を入れます。

ケーブルの接続

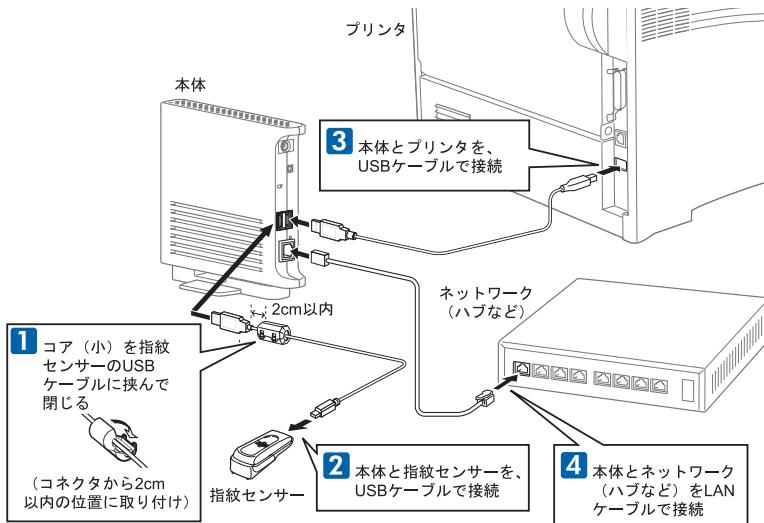
次の手順で、指紋センサーとプリンタの接続、ネットワークの接続を行います。指紋センサーとプリンタは添付の USB ケーブルで、ネットワークへは LAN ケーブル（別途ご用意ください）で接続します。

◆ 重要

- 本体に指紋センサーとプリンタを接続する際、USB ハブ経由での接続はできません。必ず本体に直接接続してください。

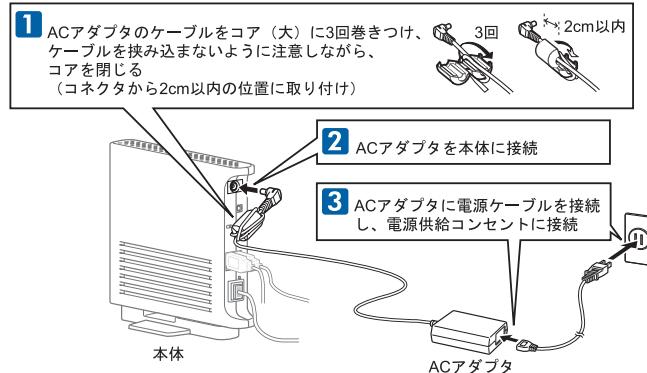
POINT

- 指紋センサーを接続するための USB ケーブルは、0.5m のものです。
- プリンタを接続するための USB ケーブルは、1.5m のものです。



AC アダプタの接続と動作確認

次の手順で AC アダプタを本体に接続します。



AC アダプタを接続すると、本体の電源が入り、初期チェックが始まります。

初期チェックからシステム起動までの処理中は、ステータスランプが次のように変化します。

- すべてのステータスランプが点灯し、ERROR → VERIFY → SENSOR の順に消灯します（30 秒程度かかりますので、そのままお待ちください）。

「ONLINE/DATA」ランプのみが点灯した状態になれば、本体は正しく起動しています。

■ 重要

- 「ERROR」ランプが点滅する場合は、ハードウェアやファームウェアの異常が考えられます。AC アダプタを取り外し、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ 動作確認後の作業

本体が正しく起動することを確認できたら、本製品の IP アドレス設定、ドライバ／ソフトウェアのインストール作業へと進みます。以降の作業については、「ユーザーズガイド」をご覧ください。「ユーザーズガイド」の参照方法は、「画面で見るマニュアルについて」（→ P.2）をご覧ください。

8 付録

次の項目について説明しています。必要に応じてご覧ください。

- ・「使用上の注意」(→ P.24)
- ・「本製品の廃棄について」(→ P.26)
- ・「お問い合わせ先」(→ P.26)
- ・「ソフトウェアや本製品に関する情報の入手方法」(→ P.27)
- ・「仕様」(→ P.27)

使用上の注意

■ 指紋センサーのセンサー部の清掃について

- ・指紋センサーのセンサー部は直接指で触れる部分であるため、汚れやすくなっています。センサー表面が汚れていると、指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下したりすることがありますので、ときどき清掃を行ってください。清掃の際には、乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- ・清掃の際に、センサー表面に水などの液体をたらさないでください。また、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。
- ・指紋の登録失敗や照合失敗が頻発するときには、センサー表面を清掃してください。
- ・清掃の際に、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。

■ 指紋登録時／照合時のご注意

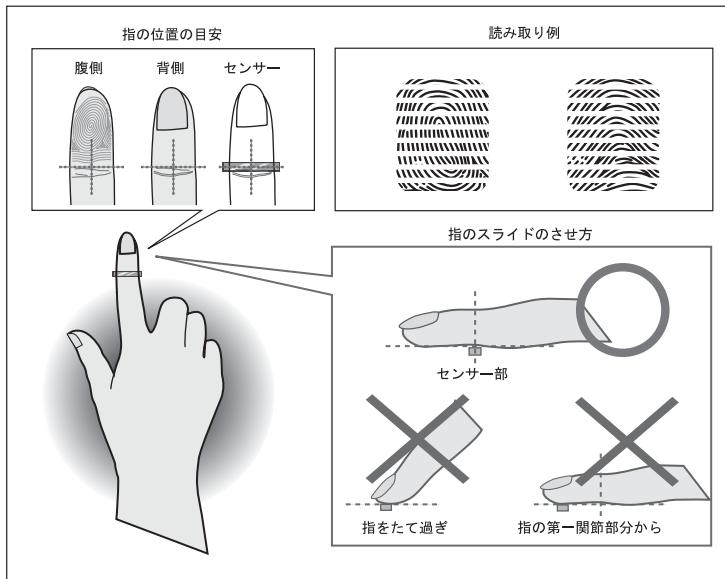
- ・指紋の登録や照合を行うときには、「指のスライドのさせ方について」(→ P.25)をご覧になり、指紋センサー上で正しく指をスライドさせてください。指が正しく置かれていないと、指紋を読み取ることが困難になったり、照合率が低下したりすることがあります。
 - ・指紋センサーの設置場所の状態によっては、指をスライドさせたときに指紋センサーが滑ることがあります。このような場合には指紋センサー底面のラバーが密着しやすい場所で操作するか、他方の手で指紋センサーを押さえながら操作してください。
 - ・指の状態が次のような場合には、指紋の登録や照合が困難になったり、照合率が低下したりすることがあります。
 - 汗や脂が多い
 - 手が荒れたり、極端に乾燥したりしている
 - 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い
 - 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した
- 手を洗う、手を拭う、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、状況が改善されることがあります。

■指紋センサーをパソコンに接続するときのご注意

- 接続前に◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」から指紋センサードライバをインストールしてください。インストール方法は、□「ユーザーズガイド」の「第3章 ドライバのインストール」をご覧ください。□「ユーザーズガイド」の参照方法は、「画面で見るマニュアルについて」(→P.2)をご覧ください。
指紋センサードライバのインストール後に指紋センサーをパソコンに接続することで、Windowsのプラグアンドプレイによりドライバが自動的にWindowsにインストールされます。
- 指紋センサーを接続する際にUSBハブを使用する場合は、自己電源を持っているハブ(ACアダプタなどで電源が供給されるタイプ)に接続し、直列接続は1段以内にしてください。
- 1台のパソコンに、指紋センサーを複数台接続しないでください。また、本製品添付の指紋センサーと別売の指紋センサーおよびパソコン内蔵指紋センサーを同時に使用することはできません。

■指のスライドのさせ方について

- 正しく指紋を読み取らせるため、次の図のように指を置いてください。



■その他のご注意

- 指紋認識技術は完全な本人認識・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害についても、いっさい責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はパソコン・プリンタ用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途で使用される設備、機器、システムなどへの組み込みは避けてください。

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、次のお問い合わせ先にご相談ください。

□ 故障・修理に関するお問い合わせ先

- ・「富士通ハードウェア修理相談センター」
 - 通話料無料 0120-422-297
 - お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

□ 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

- ・「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
 - 通話料無料 0120-950-222
 - お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)

- ・ おかげ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・ システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

ソフトウェアや本製品に関する情報の入手方法

最新版の「SecureLoginPrint ソフトウェア」は、富士通製品情報ページ(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ac001.html>) からダウンロードできます。

また、富士通製品情報ページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供していますので、必要に応じてご覧ください。

POINT

- ・上記 URL は、このマニュアルの発行時点のものです。
- ・添付の◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」には、本製品出荷時点での最新版が収められており、富士通製品情報ページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

仕様

■ 本体

表：本体仕様

項目	仕様
CPU	PowerPC プロセッサ (PPC440EP-333MHz)
メモリ	128MB (増設不可)
インターフェース	LAN (100BASE-TX/10BASE-T 共用) × 1 USB2.0 準拠×2 (プリンタ/外付け指紋センサー接続用)
LED	5 個 前面 4 個 : ONLINE/DATA (緑)、SENSOR (緑)、VERIFY (緑)、ERROR (アンバー) 背面 1 個 : LINK (緑)
電源供給方式	AC アダプタ 入力 AC100V ~ 240V、出力 DC19V (3.37A)
動作条件	温度 10 ~ 32 ℃ / 湿度 20 ~ 80%RH (ただし結露しないこと)
消費電力	最大 6W 以下
外形寸法 (突起部除く)	200 × 162 × 35mm (縦置きスタンドなし) 200 × 175 × 85mm (縦置きスタンドあり)
質量	約 425g (本体のみ)
ネットワークプロトコル	TCP/IP (RAW (Port9100)、HTTP、HTTPS、SSL) UDP/IP (DHCP、SNMP、SYSLOG、ARP、ICMP、NTP)
サポート OS	Windows Vista® Ultimate Windows Vista® Enterprise Windows Vista® Business Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Home Basic Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® XP Home Edition
耐用期間	5 年

■ 指紋センサー

表：指紋センサー仕様

項目	仕様
指紋センサー	電界型半導体センサー センサーエリア : 9.75 × 0.81mm 画素数 : 192 × 16 ピクセル 解像度 : 500dpi
インターフェース	USB1.1 × 1
電源	USBインターフェースより供給
消費電流	100mA 以下
外形寸法 (突起部除く)	27mm × 73mm × 17mm
質量	約 90g (ケーブル含む)
認識照合方式	適応型特徴相関法

**Printia LASER XL シリーズ
認証印刷ユニット SecureLoginPrint (XL-SE100F)
はじめにお読みください**

B5WY-1181-02-00

発行日 2008年1月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

-
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU[∞]

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。